

## 情報 C

# 総合実習：デジタルアーティストになってWRの感動を伝えよう

2年5組

授業者 兒玉 幸憲・中園 長新

### ■単元の目標

- コンピュータを使ったイラスト作成や、写真や文字の加工・編集を行うことができる。
- 自分の思いをデジタルデータで表現し、学校行事「ウォークラリー（WR）」の思い出アニメーション作品を制作できる。

### ■つきたい力

- コンピュータを使ってイラストを作成したり写真を処理したりする力。
- デジタルデータを適切に用いて自分の思いを受け手に伝える力。

### ■ ICT 活用の視点

#### ○アニメーション作成のための道具としての ICT の活用

アニメーションはイラストや写真、文字などを総合的に用いることで、表現の幅を広げることができる。ICT を活用することにより、これまで複雑だったこれらの操作を簡略化し、生徒の表現の幅を広げることにも寄与できる。

#### ○自分の思いを表現する道具としての ICT の活用

本校の教科「情報」ではこれまで、自分の思いを表現するために進路研究や修学旅行プレ学習のプレゼンテーション、行事振り返りの Web ページ制作などを行ってきた。アニメーションはICTのメリットをさらに活用し、情報社会において自分の思いを表現するための手段を増やすことができると考えられる。

### ■本時の授業の概要

本時は、単元の3時間目である。1時間目では、テーマについての絵コンテ作成とアニメーション作成ソフトウェアの説明を行った。2時間目には、ソフトウェアの基本的な使い方を指導した。本時は、ソフトウェアを用いて自分のアニメーションを制作する最初の時間である。どのように自分の思いを伝えるか、絵コンテを元にコンピュータの画面に表していく。

本授業はアニメーション作成ソフトウェアとして日本文教出版「EVA アニメータ・スクール II」を利用し、同社よりソフトウェア利用に関する技術的サポートを受けて実施するものである。

| 学習活動                                   | 指導上の留意点                                                                                         |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.前時までの復習                              | 絵コンテのワークシートを返却する。<br><br>生徒がワークシートを使って制作に取りかかれるように支援する。                                         |
| 2.アニメーション作成ソフトウェアの起動                   | ソフトウェアの起動を指示する。<br><br>机間巡視を行い、操作を支援する。                                                         |
| 3.写真の挿入と加工<br><br>WR活動中の写真をソフトウェアに取り込む | 共有フォルダから写真を入手し、WR活動中の写真をソフトウェアに取り込むよう支援する。<br><br>(評価) 自分の思いを適切に表現できる写真を選択し、ソフトウェアに取り込むことができたか。 |
| 4.アニメーションの制作                           | (評価) 簡単なアニメーションが作れたか。                                                                           |
| 5.本時のまとめ                               | 生徒の進捗を確認し、次時につなげる。                                                                              |